

2015年2月16日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

## ソーラーフロンティア、国産木製架台を用いて 太陽光発電所を建設

～国産木材による持続性の高いメガソーラー～

【東京－2015年2月16日】－ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場二丁目3番2号、以下：ソーラーフロンティア）は、日本では数少ない国産木製架台を用いたメガソーラーの着工をお知らせします。発電開始は2015年5月末を予定しております。

この熊本県八代地区のプロジェクトは、ソーラーフロンティアと株式会社日本政策投資銀行の共同設立会社：SFソーラーパワー株式会社によるものです。この木製架台には、地権者であり、木材保存技術のスペシャリストでもある株式会社ザイエンス（代表取締役社長：荒井浩、東京本社：東京都千代田区丸の内二丁目3番2号 郵船ビル、以下：ザイエンス）のノウハウが活かされています。なお、この木製架台は発電施設全体の架台のうち約2割に使用されます。

今回、ソーラーフロンティアでは、木製架台の持つ塩害への耐性や熱伝導率の低さを評価しました。これらの特性によって、海岸付近の塩害や融雪剤の影響を受けても腐朽が少ないほか、炎天下でも熱くなりにくいといった効果が得られます。また使用木材が国産であることから、将来的な解体後も、廃棄材を木質バイオマス燃料などに利用できるなど、環境負荷の低減も図ることが出来ます。

加えて、この木製架台の採用にあたっては、ソーラーフロンティアのCIS薄膜型太陽電池への適切な構造計算を踏まえた連結工法を用いるとともに、第三者機関（一般財団法人ベターリビング）の性能評価試験を受けております。

今後ともソーラーフロンティアは、実発電量の高いCIS薄膜太陽電池と施工方法の工夫を通して、持続性の高い太陽光発電所建設に努め、環境に優しいエネルギーを提供してまいります。

以上

SFソーラーパワー株式会社八代発電所	
設置場所	熊本県八代市新港町
敷地面積	約 19,000m <sup>2</sup>
太陽光発電容量	1,400kW
太陽電池モジュール設置枚数	8,160 枚
年間予想発電量	1,631,000 kWh

【国産木製架台】



【国産木製架台へ CIS 薄膜太陽電池を設置】



### 【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の 100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011 年 2 月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力 900 メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVM 認証（JIS Q 8901）」などの第 3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第 2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

#### 報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
吉田・高橋 TEL: 03-5531-5792